

重点目標	具体的取組	主担当	実現状況の達成度判断基準	中間評価と今後の課題と改善策
<p>1 授業改善を進め、個々の生徒に応じた指導による基礎・基本の定着を図る。</p>	<p>① ICT機器等を活用しながら、わかりやすい丁寧な授業を実施する。</p>	<p>教務課 各教科</p>	<p>授業改善に取り組み、授業の内容が理解できる生徒の割合が A 80%以上である B 70%以上である C 60%以上である D 60%未満である</p>	<p>前期末のアンケートの結果「授業の目標や学習の内容を理解できていると思う」生徒が82%と、昨年の同時期に比べて10%上昇している。“ICT機器等を用い工夫した授業”を目標にした校内研究授業を全教科で行うなどして、ICT機器を使用した授業が増えていることが要因として考えられる。さらなる授業の充実・改善に努めていきたい。 評価 A</p>
	<p>② 生徒が学習に集中し、主体的に取り組むようにするため、発言や活動の場を設ける。</p>	<p>教務課 各教科</p>	<p>授業に積極的に取り組んでいると思う生徒の割合が、 A 80%以上である B 70%以上である C 60%以上である D 60%未満である</p>	<p>アンケートでは「授業に意欲的に参加している」が72%であった。“考える時間や発言する機会”を多く設け、授業に主体的に取り組んでいると実感できる生徒を増やしたい。「課題やプリントなどを、まじめに取り組んでいる」が79%であったが、「試験などには準備し、成績向上に努めている」が59%であった。試験前の家庭学習の定着や補習の参加を呼びかけたい。 評価 B</p>
<p>2 学校生活全般を通して、社会で必要なルールやマナーの定着を図る。</p>	<p>① 欠席・遅刻・早退を減らすために、生徒指導便りや遅刻0ウィーク等を通して生徒・保護者への働きかけを行う。</p>	<p>生徒指導課</p>	<p>意識的に欠席・遅刻・早退を減らすことができた生徒の割合が A 80%以上である B 70%以上である C 60%以上である D 60%未満である</p>	<p>前期末に実施した生徒向け意識調査では、意識して欠席・遅刻・早退を減らそうと取り組んだ生徒の割合は84%で、そのうち実際に欠席・遅刻・早退を減らすことができた生徒の割合は60%だった。今後も担任教諭や保護者と連携しながら意識して欠席・遅刻・早退を減らすことができた生徒の割合が増えるように努めたい。 評価 C</p>
	<p>② 各種教室（非行防止教室、人権講話等）の開催により、規範意識を高めるとともに学校生活を通してルールやマナーを守ることの大切さを意識させる。</p>	<p>生徒指導課</p>	<p>ルールやマナーを守って学校生活を送っている生徒の割合が A 80%以上である B 70%以上である C 60%以上である D 60%未満である</p>	<p>前期末に実施した生徒向け意識調査では、ルールやマナーを守って学校生活を送っていると答えた生徒の割合は44%、だいたい守っていると答えた生徒の割合は52%で、合計96%の生徒が規範意識を持って学校生活を送っている。今後は、だいたい守っていると答えた生徒の割合を減らし、ルールやマナーを守って学校生活を送っている生徒の割合が増えるよう取り組んでいきたい。 評価 A</p>

重点目標	具体的取組	主担当	実現状況の達成度判断基準	中間評価と今後の課題と改善策
3 キャリア教育を推進し、進路実現のためのロードマップの充実を図る。	① 就業やインターンシップ等の体験を通して、勤労観・職業観を育み、進路選択の能力を高める。	進路指導課	<p>現在、就業していない生徒で、アルバイトやインターンシップに取り組んだ生徒の割合が</p> <p>A 70%以上である</p> <p>B 50%以上である</p> <p>C 30%以上である</p> <p>D 30%未満である</p>	<p>インターンシップは3年生2名で実施できた。また、短期間のアルバイトを含めると61%の14名の生徒が就業を体験した。企業見学は1年生を対象に行い、参加した生徒の感想は前向きなものが多かった。今後も進路講話や個人面談等を通して、就業に向けての意識を高めたい。その際、個々の生徒の状況に応じたはたらきかけを心がけたい。</p> <p style="text-align: right;">評価 B</p>
	② 教育振興会と学校の繋がりを深めるため情報発信に努め、就職・アルバイトの支援を依頼する。	総務課	<p>インターンシップ等を受け入れてもらった会員企業が</p> <p>A 7社以上である</p> <p>B 5社以上である</p> <p>C 3社以上である</p> <p>D 3社未満である</p>	<p>教育振興会総会の案内にあわせ、企業見学またはインターンシップの受入可否について調査したところ、8社から受入可能との返事をいただいた。その中から、都合の合った3社に企業見学を行うことができた。</p> <p>また、3年生のインターンシップを3日間実施したが、生徒の就業意識を高める上で大変有意義なものとなった。今後も受け入れ企業の拡大を目指していきたい。</p> <p style="text-align: right;">評価 A</p>
4 食生活に対する正しい理解と望ましい食生活の定着を図る。	<p>① 給食時に個別指導を行う。また、保健便り等による情報提供を行う。</p> <p>② 栄養士による生徒・保護者への食育指導を行う。</p>	<p>保健厚生課</p> <p>各担任</p>	<p>食事の重要性を理解し、意識的に望ましい食事を摂ることのできる割合が</p> <p>A 80%以上である</p> <p>B 60%以上である</p> <p>C 40%以上である</p> <p>D 40%未満である</p>	<p>給食時における個別指導や保健便りによる情報提供で、牛乳の摂取率はやや増えた。また、管理栄養士による食育指導を1回実施し食事の重要性を訴えた。しかし、9月の時点で望ましい食事をした生徒は45%であり、意識的になおかつ望ましい食事を摂った生徒は16%という結果になった。</p> <p>生徒への更なる指導と保護者への「食育教室」への参加をアピールしていきたい。</p> <p style="text-align: right;">評価 D</p>